

# 事務事業評価シート

事務事業コード	000100	重点施策	該当なし	令和2年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	地区公民館生涯学習事業		所属名	教育委員会事務局 生涯学習・スポーツ課

## 1. 基本情報

位置づけ の 総合計画 の 目標	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分		
	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち		事業期間	全期		
	政策	01	豊かな心をもった、たくましいひとづくり		根拠法令、 根拠計画等	社会教育法		
施策	1101	生涯学習の推進						
目標の 種別	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	ソフト(任意)		
	尚徳大学、鳥取市民大学の延べ参加者数		8,000人	9,000人				
	市民1人あたりの図書貸出冊数		4.72冊	5.1冊			運営方法	外部委託
			0	0			会計区分	一般会計
予算	予算事業名	地区公民館事業費(生涯学習・スポーツ課)			予算事業コード	01-09-04-06-07-01		

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	鳥取市に住む子ども
意図 (どのような状態 にするために)	ふるさとを大切に、強い志を持つ子どもに育てる。
手段 (どうするのか)	各地区公民館が取り組む生涯学習事業を通じ、子どもたちのボランティア活動・体験活動等の機会を充実、支援することにより、地域で子どもたちを育てる環境整備を図る。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
		「子どもと大人のふれあい事業」の中で、子どものボランティア活動や体験活動等の機会充実	「子どもと大人のふれあい事業」の中で、子どものボランティア活動や体験活動等の機会充実	「子どもと大人のふれあい事業」の中で、子どものボランティア活動や体験活動等の機会充実	「子どもと大人のふれあい事業」の中で、子どものボランティア活動や体験活動等の機会充実	「子どもと大人のふれあい事業」の中で、子どものボランティア活動や体験活動等の機会充実	「子どもと大人のふれあい事業」の中で、子どものボランティア活動や体験活動等の機会充実
年度別実績	「子どもと大人のふれあい事業」の実施 ・鳥取地域 510件 25,892人 ・新市域 306件 13,312人	「子どもと大人のふれあい事業」の実施 ・鳥取地域 461件 25,814人 ・新市域 278件 13,106人	「子どもと大人のふれあい事業」の実施 ・鳥取地域 455件 21,866人 ・新市域 262件 10,872人	「子どもと大人のふれあい事業」の実施 ・鳥取地域 435件 17,785人 ・新市域 335件 10,705人	「子どもと大人のふれあい事業」の実施 ・鳥取地域 447件 10,403人 ・新市域 317件 5,012人		
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	22,003	21,658	27,813	29,861	25,678	
	直接経費 A	21,281	20,926	27,089	29,142	24,971	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	245	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	21,281	20,926	27,089	28,897	24,971		
人件費 B	722	732	724	719	707		
職員数の内訳	正規職員	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
				1	「子どもと大人のふれあい事業」の開催回数	件	目標	500
			実績	816	732	717	770	764
	(指標の説明) 子どもたちのボランティア活動・体験活動等の機会を増やし、世代間の交流を促す。							
2			目標	0	0	0	0	0
			実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明)							
3			目標	0	0	0	0	0
			実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明)							

5. 令和2年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】生涯学習係 0857-30-8426</p> <p>【10次総の施策体系】1101</p> <p>【予算計上の経過】予算事業別概要目次：当初予算・P197(教048)</p> <p>【事業の概要】 委託先：鳥取市公民館連合会 ・地区公民館62館(内分館1館)の事業費 ・4事業に分類して事業を実施している。事業費の配分は基本的に各地区公民館の裁量により設定できる。</p> <p>【事業の成果】</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th style="text-align: center;">平成30年度</th> <th style="text-align: center;">令和元年度</th> <th style="text-align: center;">令和2年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(1) 子どもと大人のふれあい事業</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>事業開催数(延)</td> <td style="text-align: center;">717件</td> <td style="text-align: center;">770件</td> <td style="text-align: center;">764件</td> </tr> <tr> <td>参加人数(延)</td> <td style="text-align: center;">32,738人</td> <td style="text-align: center;">28,490人</td> <td style="text-align: center;">15,415人</td> </tr> <tr> <td>(2) 特色ある公民館活動事業</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>事業開催数(延)</td> <td style="text-align: center;">488件</td> <td style="text-align: center;">445件</td> <td style="text-align: center;">450件</td> </tr> <tr> <td>参加人数(延)</td> <td style="text-align: center;">21,860人</td> <td style="text-align: center;">17,820人</td> <td style="text-align: center;">7,855人</td> </tr> <tr> <td>(3) 地域の仲間作り事業</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>事業開催数(延)</td> <td style="text-align: center;">660件</td> <td style="text-align: center;">690件</td> <td style="text-align: center;">871件</td> </tr> <tr> <td>参加人数</td> <td style="text-align: center;">16,438人</td> <td style="text-align: center;">17,511人</td> <td style="text-align: center;">9,977人</td> </tr> <tr> <td>(4) 人権啓発推進事業</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>事業開催数(延)</td> <td style="text-align: center;">162件</td> <td style="text-align: center;">148件</td> <td style="text-align: center;">122件</td> </tr> <tr> <td>参加人数(延)</td> <td style="text-align: center;">6,437人</td> <td style="text-align: center;">4,874人</td> <td style="text-align: center;">2,617人</td> </tr> </tbody> </table> <p>【今後の課題・方向性】 将来にわたり持続可能な地域づくりのためには、次代を担うひとづくりが重要なものとなる。今後も各地区公民館において、地域の人が集い、学び合い、交流し合う機会を充実させることで、地域で人材を育てる環境整備を図る。</p>		平成30年度	令和元年度	令和2年度	(1) 子どもと大人のふれあい事業				事業開催数(延)	717件	770件	764件	参加人数(延)	32,738人	28,490人	15,415人	(2) 特色ある公民館活動事業				事業開催数(延)	488件	445件	450件	参加人数(延)	21,860人	17,820人	7,855人	(3) 地域の仲間作り事業				事業開催数(延)	660件	690件	871件	参加人数	16,438人	17,511人	9,977人	(4) 人権啓発推進事業				事業開催数(延)	162件	148件	122件	参加人数(延)	6,437人	4,874人	2,617人
		平成30年度	令和元年度	令和2年度																																																	
(1) 子どもと大人のふれあい事業																																																					
事業開催数(延)	717件	770件	764件																																																		
参加人数(延)	32,738人	28,490人	15,415人																																																		
(2) 特色ある公民館活動事業																																																					
事業開催数(延)	488件	445件	450件																																																		
参加人数(延)	21,860人	17,820人	7,855人																																																		
(3) 地域の仲間作り事業																																																					
事業開催数(延)	660件	690件	871件																																																		
参加人数	16,438人	17,511人	9,977人																																																		
(4) 人権啓発推進事業																																																					
事業開催数(延)	162件	148件	122件																																																		
参加人数(延)	6,437人	4,874人	2,617人																																																		

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標達成率	1	「子どもと大人のふれあい事業」の開催回数	163%	146%	143%	154%	153%
	2						
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN-DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input checked="" type="checkbox"/> 3. 事業未完了	<p>新型コロナウイルスの影響により年度当初から計画していた内容を実施可能な内容に変更して各地区公民館で事業を実施した。そのため、事業規模の縮小や中止となった事業が多くなった。</p>
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	<p>新型コロナウイルスの影響により事業規模の縮小が余儀なくされ、参加人数こそ減少したものの学びを絶やさないよう実施可能な形に内容変更し各地区公民館で事業を実施できた。</p>

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input checked="" type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	<p>地区公民館は、地域の社会教育の拠点及び人づくりによる地域活性化の拠点であるため、各地域の課題解決に向けた事業に取り組むことと、地域・家庭・学校の連携により次代を担う子どもたちを育てる取組を地域全体で実施していく体制づくりを推進したい。</p>		

# 事務事業評価シート

事務事業コード	000200	重点施策	該当なし	令和2年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	子育て講座事業		所属名	教育委員会事務局 生涯学習・スポーツ課

## 1. 基本情報

位置づけ の 総合計画	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち		事業期間	全期
	政策	01	豊かな心をもった、たくましいひとづくり		根拠法令、 根拠計画等	
施策	1101	生涯学習の推進				
目標の 実施の 目標	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	尚徳大学、鳥取市民大学の延べ参加者数		8,000人	9,000人	運営方法	直営
	市民1人あたりの図書貸出冊数		4.72冊	5.1冊	会計区分	一般会計
			0	0		
予算	予算事業名	子育てネットワーク推進事業費			予算事業コード	01-09-04-02-12-01

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	小学校・幼稚園等の保護者
意図 (どのような状態 にするために)	家庭教育力の向上を図るため
手段 (どうするのか)	家庭教育に関する学習機会を提供する。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
		保護者に対する家庭教育の重要性を啓発する機会を整備する	保護者に対する家庭教育の重要性を啓発する機会を整備する	保護者に対する家庭教育の重要性を啓発する機会を整備する	保護者に対する家庭教育の重要性を啓発する機会を整備する	保護者に対する家庭教育の重要性を啓発する機会を整備する
年度別実績	子育て・親育ち講座 開催数 小学校 44校 幼稚園・保育園 8園	子育て・親育ち講座 開催数 小学校 44校 幼稚園・保育園 6園	子育て・親育ち講座 開催数 小学校 44校 幼稚園・保育園 12園	子育て・親育ち講座 開催数 小学校 42校 幼稚園・保育園 13園	子育て・親育ち講座 開催数 小学校 43校 幼稚園・保育園 0園	
	事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)
事業費(A+B)		2,969	2,812	2,812	2,773	2,318
直接経費 A		2,247	2,080	2,088	2,054	1,611
国・県		1,494	1,372	674	678	535
地方債		0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	
一般財源	753	708	1,414	1,376	1,076	
人件費 B	722	732	724	719	707	
職員数の 内訳	正規職員	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
				1	子育て・親育ち講座開催数	回	目標	50
	(指標の説明)		実績	52	50	56	55	43
2			目標	0	0	0	0	0
	(指標の説明)		実績	0	0	0	0	0
3			目標	0	0	0	0	0
	(指標の説明)		実績	0	0	0	0	0

5. 令和2年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	【問合せ先】生涯学習係 0857-30-8426
	【10次総の施策体系】1101
	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P197(教046)
	【事業の概要】 ・国の補助事業「学校・家庭・地域連携協力推進事業費補助金」を受けて実施する。 (補助率：国1/3 市2/3) ・市内の小学校・幼稚園等での「子育て・親育ち講座」を家庭教育支援チームが企画・調整し開設する。 (例)新小学1年生(入学前)の保護者を対象に就学时健診等の機会を活用して実施する子育て親育ち講座、幼児期の子育て親育ち講座 ・講座内容としては、基本的な生活習慣、生活能力、豊かな情操、他人への思いやり、善悪の判断など基本的な倫理観、社会的マナー、自制心や自立心など「生きる力」の基礎的な資質や能力を育成する上で必要な事項を取り上げて、保護者の家庭での教育力向上を図る。
	【事業の成果】

	平成30年度	令和元年度	令和2年度
幼児期講座	12回	13回	0回
小学校入学前講座	44回	42回	43回

【今後の課題・方向性】 より内容が充実したものになるよう見直ししながら、今後も基礎的な資質や能力を育成するうえで必要な事項を取り上げ、保護者の家庭での教育力の向上を図る。 保護者同士のつながりを生み、子育てに関する親の孤立を防止する取組を推進する。
--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標達成率	1	子育て・親育ち講座開催数	104%	100%	110%	106%	81%
	2						
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
年度計画の進捗度  <small>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でのどのような進捗状況となったか。</small>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	
事業の成果  <small>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</small>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	新型コロナウイルス感染症の影響により、保育園・幼稚園の講座実施ができなかった。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input checked="" type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント <small>(「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</small>		

今後も基礎的な資質や能力を育成するうえで必要な事項を取り上げ、保護者の家庭での教育力の向上を図るとともに、県などの他機関と連携を図りながら、保護者同士のつながりを深めるなどして、親の孤立を防止する取組を推進する。

# 事務事業評価シート

事務事業コード	000300	重点施策	該当なし	令和2年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	高齢者生きがい促進総合事業		所属名	教育委員会事務局 生涯学習・スポーツ課

## 1. 基本情報

位置づけ 総合計画の 実施の 目標	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち		事業期間	全期
	政策	01	豊かな心をもった、たくましいひとづくり		根拠法令、 根拠計画等	
施策	1101	生涯学習の推進				
目標の 内容	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	尚徳大学、鳥取市民大学の延べ参加者数		8,000人	9,000人	運営方法	その他
	市民1人あたりの図書貸出冊数		4.72冊	5.1冊	会計区分	一般会計
			0	0		
予算	予算事業名	生涯学習講座推進事業費		予算事業コード	01-09-04-01-15-01	

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	市民
意図 (どのような状態 にするために)	市民が学習しようと思ったとき「いつでも、どこでも、だれでも、だれとでも、何でも、いつまでも」学習できるような環境をつくるとともに、学習成果を地域に還元できるようにする。
手段 (どうするか)	社会の動向や生涯各期の学習ニーズに対応した学習機会を充実させる。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
		尚徳大学の開催 高齢者人材活用事業	尚徳大学の開催 高齢者人材活用事業	尚徳大学の開催 高齢者人材活用事業	尚徳大学の開催 高齢者人材活用事業	尚徳大学の開催 高齢者人材活用事業	尚徳大学の開催 高齢者人材活用事業
年度別実績	尚徳大学 講座開催回数 126回 参加者数 6,794人	尚徳大学 講座開催回数 126回 参加者数 6,236人	尚徳大学 講座開催回数 126回 参加者数 6,475人	尚徳大学 講座開催回数 124回 参加者数 5,364人	尚徳大学 講座開催回数 60回 参加者数 701人		
	高齢者人材活用 事業回数 6回 延参加者数 583人	高齢者人材活用 事業回数 8回 延参加者数 765人	高齢者人材活用 事業回数 6回 延参加者数 688人	高齢者人材活用 事業回数 6回 延参加者数 367人	高齢者人材活用 事業回数 2回 延参加者数 33人		
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	2,427	7,587	7,428	7,417	7,410	
	直接経費 A	1,705	6,855	6,704	6,698	6,703	
	直接経費の財 源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	854	0	0	0	0
	一般財源	851	6,855	6,704	6,698	6,703	
人件費 B	722	732	724	719	707		
職員数の 内訳	正規職員	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
				1	尚徳大学受講者の満足度	%	目標	80
	(指標の説明) 受講者アンケート調査で中程度の評価より高い回答をした受講者の割合		実績	77.4	79.3	75.45	73.9	60
2	高齢者人材活用事業の市民教授登録者数	人	目標	0	51	66	81	96
	(指標の説明) 登録者数を増やすことで、様々な分野における市民の学ぶ機会を増やす。		実績	41	36	34	31	29
3			目標	0	0	0	0	0
	(指標の説明)		実績	0	0	0	0	0

5. 令和2年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】生涯学習係 0857-30-8426</p> <p>【10次総の施策体系】1101</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P197(教045)</p> <p>【事業の概要】</p> <p>1 尚徳大学 ・高齢者の社会参加及び受講生間の交流を促し、生きがいづくりを促進する。 ・地域で活躍する活力ある高齢者層を創出する。</p> <p>2 高齢者人材活用事業 優れた知識、技能を有する地域人材を募り、市民の主體的な学習活動を支える講師あるいは助言者として活用する。</p> <p>【事業の成果】</p> <p>1 尚徳大学 ・開催講座 8つの専門コース (書道・彫刻・絵画・民芸・社会・健康・郷土・貢献) 計60回 ・延べ出席者数 平成30年度 令和元年度 令和2年度 6,475人 5,364人 701人</p> <p>2 高齢者人材活用事業 ・登録者数 29人 ・講演会等延べ参加者数 平成30年度 令和元年度 令和2年度 688人 367人 33人</p> <p>【今後の課題・方向性】 麒麟のまちアカデミーとして因幡・但馬麒麟のまち圏域で相互連携し、多種多様な学習ニーズや社会情勢に対応した学習機会づくりを今後検討していく。 高齢者人材活用事業は活用件数の増加につなげるため、市民教授登録者数の増加に努め、広報の強化を検討していく。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

指標名		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標達成率	1 尚徳大学受講者の満足度	97%	93%	84%	82%	67%
	2 高齢者人材活用事業の市民教授登録者数		71%	52%	38%	30%
	3					

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input checked="" type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	<p>満足度の低下は、コロナ禍で学習活動を進めるため開始したりリモート講義など新たな取組みが高齢者にとって好まれなかったため生じたもの。しかしwithコロナを踏まえた取り組みであるため、満足度に関わらず実施していく必要がある。また参加者数の減少も、後期高齢者層の増加、運営側としてもコロナ禍による人数制限や講座コマ数の減少に伴うことも要因の一つ。</p>

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input checked="" type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合 <input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	<p>尚徳大学は、多種多様な学習ニーズや社会情勢に対応した学習機会づくりを今後検討していく。高齢者人材活用事業は活用件数の増加につなげるため、市民教授登録者数の増加に努め、広報の強化を検討していく。</p>	

# 事務事業評価シート

事務事業コード	000400	重点施策	該当なし	令和2年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	市民大学開設事業		所属名	教育委員会事務局 生涯学習・スポーツ課

## 1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち		事業期間	全期
	政策	01	豊かな心をもった、たくましいひとづくり		根拠法令、根拠計画等	
施策	1101	生涯学習の推進				
施策の目標	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	尚徳大学、鳥取市民大学の延べ参加者数		8,000人	9,000人	運営方法	外部委託
	市民1人あたりの図書貸出冊数		4.72冊	5.1冊	会計区分	一般会計
予算	予算事業名				予算事業コード	

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	市民
意図 (どのような状態にするために)	市民が学習しようと思ったとき「いつでも、どこでも、だれでも、だれとでも、何でも、いつまでも」学習できるような環境をつくるとともに、学習成果を地域に還元できるようにする。
手段 (どうするのか)	社会の動向や生涯各期の学習ニーズに対応した学習機会を充実させる。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
		市民大学の開催	市民大学の開催	市民大学の開催	市民大学の開催	市民大学の開催	市民大学の開催
年度別実績	市民大学 講座開催数 30回 延参加者数 693人	市民大学 講座開催数 30回 延参加者数 886人	市民大学 講座開催数 30回 延参加者数 1,052人	市民大学 講座開催数 30回 延参加者数 1,073人	市民大学 講座開催数 5回 YouTube総再生回数 1,369回		
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	920	732	724	719	707	
	直接経費 A	198	0	0	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	198	0	0	0	0		
人件費 B	722	732	724	719	707		
職員数の内訳	正規職員	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
				市民大学(尚徳大学)受講者の満足度	%	目標	80	85
			実績	77.4	89	89	91	88
	(指標の説明) 受講者アンケート調査で中程度の評価より高い回答をした受講者の割合							
2	市民大学の延べ参加者数	人	目標	0	800	900	1000	1000
			実績	693	886	1052	1073	1369
	(指標の説明) 年間の延べ人数							
3			目標	0	0	0	0	0
			実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明)							

5. 令和2年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】生涯学習係 0857-30-8426</p> <p>【10次総の施策体系】1101</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算P197(教045)</p> <p>【事業の概要】 市民が「いつでも、どこでも、だれでも、だれとでも、何でも、いつまでも」学習できる環境の整備を目的とする。鳥取市に在住、または勤務する方を対象とし、市民の能動的な学習活動の場として昼と夜に開講している。</p> <p>【事業の成果】(全てYouTube配信)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・山陰海岸ジオパーク講座 1回</li> <li>・特別講座：麒麟獅子舞 1回</li> <li>・市民健康講座 1回</li> <li>・国際理解講座 1回</li> <li>・郷土の歴史講座 1回</li> </ul>			
	<table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 33%;">参加者数(延)</td> <td style="width: 16.5%;">平成30年度 1,052人</td> <td style="width: 16.5%;">令和元年度 1,073人</td> <td style="width: 35%;">令和2年度 1,369回(再生回数)</td> </tr> </table> <p>【今後の課題・方向性】 高齢者生きがい促進事業と重複しない内容・時間、または重層的な内容など他の事業と差別化を図りながら、より効果的の事業となるよう実施する。</p>	参加者数(延)	平成30年度 1,052人	令和元年度 1,073人
参加者数(延)	平成30年度 1,052人	令和元年度 1,073人	令和2年度 1,369回(再生回数)	

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標達成率	1	市民大学(尚徳大学)受講者の満足度	97%	105%	99%	101%	93%
	2	市民大学の延べ参加者数		111%	117%	107%	137%
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	<p>高齢者生きがい促進事業と重複しない内容・時間、または重層的な内容など他の事業と差別化を図りながら、より効果的の事業となるよう実施する。</p>	



# 事務事業評価シート

事務事業コード	000500	重点施策	該当なし	令和2年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	図書館情報管理システム処理事業		所属名	教育委員会事務局 中央図書館

## 1. 基本情報

位置づけ 総合計画の 実施の 目標	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち		事業期間	平成28年度 ~ 全期
	政策	01	豊かな心をもった、たくましいひとづくり		根拠法令、 根拠計画等	
施策	1101	生涯学習の推進				
目標の 内容	目標の種類		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	尚徳大学、鳥取市民大学の延べ参加者数		8,000人	9,000人	運営方法	直営
	市民1人あたりの図書貸出冊数		4.72冊	5.1冊	会計区分	一般会計
			0	0		
予算	予算事業名	図書館情報管理システム処理費		予算事業コード	01-09-04-09-06-01	

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	図書館3館、コミュニティセンター図書室6室及び市立病院図書室の利用者情報、所蔵資料に関する情報、予約・貸出状況等の管理
意図 (どのような状態にするために)	図書館利用者情報などを適正に管理することで、市民に迅速、正確、公平な図書館サービスを提供し、利便性・効率性・経済性の向上を図る。
手段 (どうするのか)	平成30年度に更新した図書館情報管理システムを適正に運用し、利用者情報、所蔵資料情報等の管理を行い、利用者自身がインターネットから本の予約、予約状況の確認、貸出の延長などを行えるようにするとともに、予約した本が正確・迅速に利用者に貸出せるようにする。また、中央図書館においては、本の自動貸出機、自動返却機の運用により、利用者の利便性の向上を図る。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
内容	年度別計画	図書館コンピュータシステムの効率的な運用 複数の図書館・室の一体的管理 読書記録の提供	図書館コンピュータシステムの効率的な運用 複数の図書館・室の一体的管理 読書記録の提供	図書館コンピュータシステムの効率的な運用 複数の図書館・室の一体的管理 読書記録の提供 図書館コンピュータシステムの更新(平成31年2月)	図書館コンピュータシステムの効率的な運用 複数の図書館・室の一体的管理 読書記録の提供 シニア向け情報活用講習会の開催	図書館コンピュータシステムの効率的な運用 複数の図書館・室の一体的管理 読書記録の提供 シニア向け情報活用講習会の開催
	年度別実績	コンピュータシステムによる効率的な運用 図書館3館、図書室6室及び市立病院図書室の一体的運用管理 読書記録の提供	コンピュータシステムによる効率的な運用 図書館3館、図書室6室及び市立病院図書室の一体的運用管理 読書記録の提供 貸出冊数の増冊(10冊 15冊に変更)	図書館コンピュータシステムの効率的な運用 複数の図書館・室の一体的管理 読書記録の提供 図書館コンピュータシステムの更新(平成31年2月)	図書館コンピュータシステムの効率的な運用 複数の図書館・室の一体的管理 読書記録の提供 シニア向け情報活用講習会の開催	図書館コンピュータシステムの効率的な運用 複数の図書館・室の一体的管理 読書記録の提供 実績なし
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)
	事業費(A+B)	31,218	29,697	15,494	28,302	28,446
	直接経費 A	29,052	27,501	13,321	26,145	26,325
	国・県	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	65	65	65	65	66
	一般財源	28,987	27,436	13,256	26,080	26,259
人件費 B	2,166	2,196	2,173	2,157	2,121	
職員数の内訳	正規職員	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
活動指標	1	セルフ利用率の拡大(中央図書館における自動貸出機・返却機の利用率)	%	目標	45	47	47	47.5	48
				実績	46	45.3	46.3	49.7	50.7
	(指標の説明) 情報管理システム処理件数(貸出返却セルフ利用冊数/総貸出返却処理冊数)基準値は27年度実績								
2	個人貸出冊数	冊	目標	890000	891000	875000	876000	877000	
			実績	839356	872287	864306	884403	683026	
	(指標の説明) 情報管理システム処理件数(図書館3館、図書室6室、市立病院で処理した個人貸出の冊数)								
3	インターネット(館内蔵書検索端末を含)による予約の割合	%	目標	66.4	66.5	66.6	66.7	66.8	
			実績	65.1	64.2	63.8	65.8	68.1	
(指標の説明) インターネットによる予約の件数/総予約件数(基準値は27年度実績)									

5. 令和2年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 中央図書館 0857-27-5182</p> <p>【10次総の施策体系】 1101</p> <p>【事業の経過及び背景】 平成18年度、3館6室館の図書館電算システムを統合(合併特例債112,500千円を活用) 平成24年度、プロポーザル方式により業者選定を行いシステム更新、運用 平成26年度、市立病院図書にシステム適用 平成30年3月、図書館情報管理システムの更新</p> <p>【事業の目的及び効果】 図書館利用者情報などを適正に管理することで、市民等に迅速、正確、公平な図書館サービスを提供し、利便性・効率性・経済性の向上を図る。</p> <p>【事業の内容・実績(過去3年)】 図書館情報管理システムの運用(3館(移動図書館車含)、6室、市立病院) 貸借料 電算関係消耗品費 インターネット回線使用料 機器及びソフトの保守業務 図書データ作成委託費 新聞データベース記事・紙面検索サービスの導入</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>決算額</td> <td>13,321千円</td> <td>26,145千円</td> <td>26,258千円</td> </tr> <tr> <td>蔵書冊数</td> <td>678,248冊</td> <td>685,960冊</td> <td>689,435冊</td> </tr> <tr> <td>利用者登録数</td> <td>69,718人</td> <td>71,953人</td> <td>73,686人</td> </tr> <tr> <td>個人貸出</td> <td>864,306冊</td> <td>884,403冊</td> <td>680,566冊</td> </tr> <tr> <td>団体貸出</td> <td>92,210冊</td> <td>85,237冊</td> <td>84,581冊</td> </tr> <tr> <td>予約受付</td> <td>142,377件</td> <td>138,3374件</td> <td>134,506件</td> </tr> <tr> <td>中央図書館入館者数</td> <td>367,180人</td> <td>363,517人</td> <td>232,205人</td> </tr> </tbody> </table>		30年度	元年度	2年度	決算額	13,321千円	26,145千円	26,258千円	蔵書冊数	678,248冊	685,960冊	689,435冊	利用者登録数	69,718人	71,953人	73,686人	個人貸出	864,306冊	884,403冊	680,566冊	団体貸出	92,210冊	85,237冊	84,581冊	予約受付	142,377件	138,3374件	134,506件	中央図書館入館者数	367,180人	363,517人	232,205人
		30年度	元年度	2年度																													
決算額	13,321千円	26,145千円	26,258千円																														
蔵書冊数	678,248冊	685,960冊	689,435冊																														
利用者登録数	69,718人	71,953人	73,686人																														
個人貸出	864,306冊	884,403冊	680,566冊																														
団体貸出	92,210冊	85,237冊	84,581冊																														
予約受付	142,377件	138,3374件	134,506件																														
中央図書館入館者数	367,180人	363,517人	232,205人																														

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標達成率	1	セルフ利用率の拡大(中央図書館における自動貸出機・返却機の利用率)	102%	96%	99%	105%	106%
	2	個人貸出冊数	94%	98%	99%	101%	78%
	3	インターネット(館内蔵書検索端末を含)による予約の割合	98%	97%	96%	99%	102%

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input checked="" type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	<p>新型コロナウイルス感染症対策のため、休館措置を取った期間があり、貸出冊数が伸びなかった。</p>

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input checked="" type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	<p>図書館情報管理システムは、毎年度、保守の範囲内でバージョンアップを行っており、今後もより一層の利便性の向上、効率化を行うとともに、安定的なサービス提供を継続していく。また、新型コロナウイルス感染症対策に応じた図書館サービスを継続していくために、より楽しく安心して図書館を活用できるよう、積極的な図書館サービスの活用方法の広報に努めていく。</p>		

# 事務事業評価シート

事務事業コード	000600	重点施策	該当なし	令和2年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	地域社会教育活動総合事業		所属名	教育委員会事務局 中央図書館

## 1. 基本情報

位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち		事業期間	平成28年度 ~ 全期
	政策	01	豊かな心をもった、たくましいひとづくり		根拠法令、 根拠計画等	図書館法、鳥取市立図書館の 設置及び管理に関する条例
施策	1101	生涯学習の推進				
目標の 実施の 目標	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	尚徳大学、鳥取市民大学の延べ参加者数		8,000人	9,000人	運営方法	直営
	市民1人あたりの図書貸出冊数		4.72冊	5.1冊	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	地域社会教育活動総合事業費		予算事業コード	01-09-04-09-05-01	

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	子どもから大人までの市民等及び読み聞かせ等のボランティア
意図 (どのような状態 にするために)	市民等が本に親しむ機会を得ることにより、幼い時期から読書の習慣を身につけ、自ら考え、行動するために、必要な知識や情報を得て、自己実現を図るとともに、生涯にわたって心豊かな暮らしを送る。また、地域文化の発展に寄与する。
手段 (どうするのか)	子どもの読書活動を推進するため、ブックスタート事業の協力、「おはなし会」等の事業の実施をするとともに、絵本の読み聞かせ等ボランティア養成講座の実施。 また、一般向け講座の実施。事業の展開にあたっては、広報媒体を活用して積極的な周知を図る。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
		おはなし会の実施 絵本読み聞かせボランティアの養成 ブックスタート事業の支援 読書推進活動の実施	おはなし会の実施 絵本読み聞かせボランティアの養成 ブックスタート事業の支援 読書推進活動の実施	おはなし会の実施 絵本読み聞かせボランティアの養成 ブックスタート事業の支援 読書推進活動の実施	おはなし会の実施 絵本読み聞かせボランティアの養成 ブックスタート事業の支援 読書推進活動の実施	おはなし会の実施 絵本読み聞かせボランティアの養成 ブックスタート事業の支援 読書推進活動の実施
年度別実績	おはなし会、親子を対象にした講座の実施 読み聞かせボランティア養成講座の実施 ブックスタート事業実施の支援 音読教室一般向け講座の実施・読書通帳の配布・まちライブラリー設置	おはなし会、親子を対象にした講座の実施 読み聞かせボランティア養成講座の実施 ブックスタート事業実施の支援 文字・活字文化の日講義、音読教室の実施、読書通帳の配布、まちライブラリーの設置	おはなし会、親子を対象にした講座の実施 読み聞かせボランティア養成講座の実施 ブックスタート事業実施の支援 文字・活字文化の日講義、音読教室、読書通帳の配布、まちライブラリーの設置	おはなし会、親子を対象にした講座の実施 読み聞かせボランティア養成講座の実施 ブックスタート事業実施の支援 文字・活字文化の日講義、音読教室、読書通帳の配布、まちライブラリーの設置	おはなし会、親子を対象にした講座の実施 読み聞かせボランティア養成講座の実施 ブックスタート事業実施の支援 文字・活字文化の日講義、音読教室、読書通帳の配布、まちライブラリーの設置	おはなし会、親子を対象にした講座の実施 読み聞かせボランティア養成講座の実施 ブックスタート事業実施の支援 読書通帳の配布、まちライブラリーの設置 こども食堂への支援
	事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)
事業費(A+B)		5,361	5,347	5,412	5,439	5,060
直接経費 A		751	696	767	832	497
国・県		0	0	0	0	0
地方債		0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	
一般財源	751	696	767	832	497	
人件費 B	4,610	4,651	4,645	4,607	4,563	
職員数の 内訳	正規職員	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50
	嘱託職員	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
				1	おはなし会、各種講座への参加者数(3館)	人	目標	4982
			実績	5433	6097	5240	5236	1504
	(指標の説明) おはなし会、読み聞かせボランティア養成講座等への参加者数							
2	受講修了者(7割以上出席者)のボランティア活動実施率	%	目標	65	65.5	50	50	55
			実績	84.2	45.7	61.1	96.9	75
	(指標の説明) 受講修了者(7割以上出席者)のボランティア活動実施率(実施予定含む)							
3			目標	0	0	0	0	0
			実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明)							

5. 令和2年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】中央図書館 0857-27-5182</p> <p>【10次総の施策体系】1101</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P205(教061)</p> <p>【事業の概要】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>各図書館で毎週定期的に「おはなし会」など子ども対象の事業を実施</li> <li>絵本の読み聞かせボランティア養成講座等を実施</li> <li>保健センターが行なうブックスタート事業に協力</li> <li>一般向けとして、文字・活字文化の日講演会、音読教室等の実施</li> <li>子育て支援として、講座等の託児を実施</li> <li>子ども食堂支援団体と連携して、子ども食堂へ団体貸出を実施</li> </ol> <p>【事業の成果】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>各種事業に多数参加していただき、図書館利用促進、読書活動の推進につながった。</li> <li>ボランティア養成講座、講演会等において託児を実施するなど子育て支援を行った。</li> </ol> <p>平成30年度： 767千円 令和元年度： 832千円 令和2年度： 497千円</p> <p>【今後の課題・方向性】 子どもの読書活動を一層推進するためには、本が身近にある環境と手助けする人が重要である。多くの方にボランティア養成講座を受講していただけるよう、引き続き、受講しやすく、実践につながるような工夫をしていく。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標達成率	1	おはなし会、各種講座への参加者数(3館)	109%	122%	104%	104%	30%
	2	受講修了者(7割以上出席者)のボランティア活動実施率	130%	70%	122%	194%	136%
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input checked="" type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	<p>新型コロナウイルス感染症対策のため、事業が開催できなかったこともあり、参加数が伸びなかった。</p>

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input checked="" type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	<p>子どもの読書活動を一層推進するためには、子どもたちの身近に本がある環境と手助けする人が重要と感じる。「手助けする人」=ボランティアを育成するために、幅広い方々を対象にボランティア育成講座を開催していくとともに、活動の機会を広げていくために、ボランティア団体との交流にも努めていく。</p>		

# 事務事業評価シート

事務事業コード	000700	重点施策	該当なし	令和2年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	図書購入事業	所属名	教育委員会事務局 中央図書館	

## 1. 基本情報

位置づけ 総合計画の 位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち		事業期間	平成28年度 ~ 全期
	政策	01	豊かな心をもった、たくましいひとづくり		根拠法令、 根拠計画等	図書館法・鳥取市図書館の設置及び管理に関する条例
施策	1101	生涯学習の推進				
目標の 実施の	目標の種類		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	ソフト(義務)
	尚徳大学、鳥取市民大学の延べ参加者数		8,000人	9,000人	運営方法	直営
	市民1人あたりの図書貸出冊数		4.72冊	5.1冊	会計区分	一般会計
			0	0		
予算	予算事業名	図書購入費	予算事業コード		01-09-04-09-08-01	

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	市民の利用に供するための図書館の蔵書
意図 (どのような状態にするために)	市民等が自らが生涯にわたって学び、自己実現を図るとともに、さまざまな課題についても自ら判断できるよう、さまざまな知識や情報を身近な拠点で容易に入手できるようにする。
手段 (どうするのか)	一般図書・児童図書・参考図書・郷土資料及び新聞・雑誌等の定期刊行物を購入し、整備する。 選書にあたっては、資料収集方針により図書館3館とコミュニティセンター図書室6室でバランスのとれた蔵書構成を図り、限られた財源を有効に活用する。また、市民のリクエストや現代的な課題に関する資料の充実に努める。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
		資料収集方針に基づく バランスの取れた図書の購入・整備	資料収集方針に基づく バランスの取れた図書の購入・整備	資料収集方針に基づく バランスの取れた図書の購入・整備	資料収集方針に基づく バランスの取れた図書の購入・整備	資料収集方針に基づく バランスの取れた図書の購入・整備
年度別実績		一般書・児童書・参考図書・郷土資料及び新聞・雑誌等の定期刊行物を購入し、整備した。 18,941冊購入 (内、視聴覚資料119点)	一般書・児童書・参考図書・郷土資料及び新聞・雑誌等の定期刊行物を購入し、整備した。 19,267冊購入 (内、視聴覚資料150点)	一般書・児童書・参考図書・郷土資料及び新聞・雑誌等の定期刊行物を購入し、整備した。 19,414冊購入 (内、視聴覚資料141点)	一般書・児童書・参考図書・郷土資料及び新聞・雑誌等の定期刊行物を購入し、整備した。 18,837冊購入 (内、視聴覚資料151点)	一般書・児童書・参考図書・郷土資料及び新聞・雑誌等の定期刊行物を購入し、整備した。 18,446冊購入 (内、視聴覚資料177点)
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)
	事業費(A+B)	41,834	41,610	41,537	41,865	42,569
	直接経費 A	36,224	35,968	35,869	36,247	36,498
	国・県	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	36,224	35,968	20,124	36,246	36,498
直接経費の財源内訳	一般財源	0	0	15,745	1	0
人件費 B	5,610	5,642	5,668	5,618	6,071	
職員数の内訳	正規職員	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50
	嘱託職員	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
				目標	実績	目標	実績	目標
1	新規購入図書年間貸出回数	回	目標	9.6	9.7	9.8	9.9	10
			実績	9.1	10.2	9.9	10.5	8.5
(指標の説明) 新規購入図書貸出回数(年度内新規購入図書貸出累計÷新規購入図書冊数×2)								
2			目標	0	0	0	0	0
			実績	0	0	0	0	0
(指標の説明)								
3			目標	0	0	0	0	0
			実績	0	0	0	0	0
(指標の説明)								

5. 令和2年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】中央図書館 0857-27-5182</p> <p>【10次総の施策体系】1101</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P206(教063)</p> <p>【事業の概要】 市民の教育、学術及び文化の発展に寄与するため、資料の収集、整理、保存を行う。 具体的には、社会情勢や市民のニーズを捉えながら、一般書、児童書などの図書、視聴覚資料、雑誌の購入を行う。</p> <p>【事業の成果】 平成30年度：35,869千円 19,414冊購入(雑誌除く) 令和元年度：36,245千円 18,837冊購入(＼) 令和2年度：36,498千円 18,446冊購入(＼)</p> <p>【今後の課題・方向性】 社会情勢を捉えながら、多様な考え方や新しい情報の資料を整備する。 また、県立図書館や他の自治体の図書館と連携を図り、サービスを充実するとともに、資料のデジタル化や電子書籍の研究、検討を行う。</p> <p style="text-align: center;">その他財源の繰入金は、ふるさと納税基金繰入金</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標達成率	1	新規購入図書年間貸出回数	95%	105%	101%	106%	85%
	2						
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input checked="" type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	<p>社会情勢を捉えながら、多様な考え方や新しい情報の応じた資料を積極的に整備する。また、「だれもが読書ができる社会をめざして」施行された読書バリアフリー法の規定に基づき、県立図書館や他の自治体の図書館と連携を図り、図書館サービスを充実するとともに、資料のデジタル化や電子書籍の研究、検討を行っていく。</p>		

# 事務事業評価シート

事務事業コード	000800	重点施策	該当なし	令和2年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	公民館祭開催事業		所属名	市民生活部 協働推進課

## 1. 基本情報

位置づけ の 目標	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち		事業期間	昭和57年度 ~ 全期
	政策	01	豊かな心をもった、たくましいひとづくり		根拠法令、 根拠計画等	
施策	1101	生涯学習の推進				
目標の 実施の 目標	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	尚徳大学、鳥取市民大学の延べ参加者数		8,000人	9,000人	運営方法	その他
	市民1人あたりの図書貸出冊数		4.72冊	5.1冊	会計区分	一般会計
			0	0		
予算	予算事業名	公民館祭開催費(協働推進課)			予算事業コード	01-09-04-06-19-01

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	市民
意図 (どのような状態 にするために)	市内61地区公民館を拠点として活動している市民が、丹精込めて制作した作品の数々や練習を重ねた様々な野の芸能などについて、1年間の成果を発表する場として開催し、公民館活動の活性化と生き生きとした地域づくりの推進を図る。
手段 (どうするのか)	鳥取市公民館連合会が主体となって事業の企画実施を行う。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
		年度別実績	作品展示会(61地区公民館で1年間に制作した作品を展示する。) 芸能発表会(61地区公民館で学習した伝承芸能、踊り等学習成果の発表を行う。)	作品展示会(61地区公民館で1年間に制作した作品を展示する。) 芸能発表会(61地区公民館で学習した伝承芸能、踊り等学習成果の発表を行う。)	作品展示会(61地区公民館で1年間に制作した作品を展示する。) 芸能発表会(61地区公民館で学習した伝承芸能、踊り等学習成果の発表を行う。)	作品展示会(61地区公民館で1年間に制作した作品を展示する。) 芸能発表会(61地区公民館で学習した伝承芸能、踊り等学習成果の発表を行う。)
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)
	事業費(A+B)	4,185	4,235	4,197	4,170	0
	直接経費 A	575	575	575	575	0
	直接経費の財源内訳					
	国・県	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	
その他	0	0	0	0	0	
一般財源	575	575	575	575	0	
人件費 B	3,610	3,660	3,622	3,595	0	
職員数の内訳	正規職員	0.50	0.50	0.50	0.50	0.00
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
				1	開催期間中の入場者	人	目標	1400	1400
				実績	1169	1373	1439	1551	0
	(指標の説明) 基準値は平成27年度実績								
2				目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明)								
3				目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明)								

5. 令和2年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】地区公民館係 0857-30-8178</p> <p>【10次総合の施策体系】1101</p> <p>【予算計上の経過】なし</p> <p>【事業の概要】 地区公民館で活動している市民が丹精込めて制作した作品の数々や、練習を重ねた様々な分野の芸能を来訪者に観賞してもらう。 ・作品展示会(61地区公民館で1年間に創作した作品を展示する。) ・芸能発表会(61地区公民館で学習した伝承芸能、踊り等学習成果の発表を行う。)</p> <p>【事業の成果】公民館活動について理解を深めてもらうとともに、出品者の創作意欲、発表者の練習意欲をいっそう向上させ、公民館活動の活性化と生き生きとした地域づくりの推進を図る。</p> <table border="1"> <tr> <td>【作品展示会】</td> <td>平成30年度</td> <td>令和元年度</td> <td>令和2年度</td> </tr> <tr> <td>出品者数</td> <td>1665人</td> <td>1695人</td> <td>(中止)</td> </tr> <tr> <td>出品点数</td> <td>2354点</td> <td>2141点</td> <td></td> </tr> <tr> <td>【芸能発表会】</td> <td>平成30年度</td> <td>令和元年度</td> <td>令和2年度</td> </tr> <tr> <td>出演者数</td> <td>179人</td> <td>121人</td> <td>(中止)</td> </tr> <tr> <td>入場者数</td> <td>330人</td> <td>504人</td> <td></td> </tr> </table> <p>【今後の課題・方向性】 公民館活動の活性化と生き生きとした地域づくりの推進を図るためことは重要であるが、公民館職員の負担や事業の効果、アフターコロナの事業展開などをふまえ、公民館祭の今後のあり方について実施主体である公民館連合会において検討する。</p>	【作品展示会】	平成30年度	令和元年度	令和2年度	出品者数	1665人	1695人	(中止)	出品点数	2354点	2141点		【芸能発表会】	平成30年度	令和元年度	令和2年度	出演者数	179人	121人	(中止)	入場者数	330人	504人	
【作品展示会】	平成30年度	令和元年度	令和2年度																						
出品者数	1665人	1695人	(中止)																						
出品点数	2354点	2141点																							
【芸能発表会】	平成30年度	令和元年度	令和2年度																						
出演者数	179人	121人	(中止)																						
入場者数	330人	504人																							

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標達成率	1	開催期間中の入場者	84%	98%	103%	111%	
	2						
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input checked="" type="checkbox"/> 3. 事業未完了	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から公民館祭を中止したため
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input checked="" type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から公民館祭を中止したため

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input checked="" type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p> <p>公民館活動の活性化と地域づくりの推進を図ることは重要であるが、事業効果をふまえ、今後のあり方について実施主体である公民館連合会と検討する。</p>		



# 事務事業評価シート

事務事業コード	000900	重点施策	該当なし	令和2年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	生涯学習推進事業		所属名	教育委員会事務局 生涯学習・スポーツ課

## 1. 基本情報

位置づけ 総合計画の まちづくり	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち		事業期間	全期
	政策	01	豊かな心をもった、たくましいひとづくり		根拠法令、 根拠計画等	
施策	1101	生涯学習の推進				
目標の 実施の	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	尚徳大学、鳥取市民大学の延べ参加者数		8,000人	9,000人	運営方法	直営
	市民1人あたりの図書貸出冊数		4.72冊	5.1冊	会計区分	一般会計
			0	0		
予算	予算事業名	生涯学習推進事業費(生涯学習・スポーツ課)			予算事業コード	01-09-04-01-07-01

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	市民
意図 (どのような状態にするために)	地域に根付いた生涯学習活動を推進するため
手段 (どうするのか)	各コミュニティセンターにおいて生涯学習事業を開催する

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
		各コミュニティセンターで地域性を活かした各種事業を開催し、地域に根差した生涯学習を推進	各コミュニティセンターで地域性を活かした各種事業を開催し、地域に根差した生涯学習を推進	各コミュニティセンターで地域性を活かした各種事業を開催し、地域に根差した生涯学習を推進	各コミュニティセンターで地域性を活かした各種事業を開催し、地域に根差した生涯学習を推進	各コミュニティセンターで地域性を活かした各種事業を開催し、地域に根差した生涯学習を推進	
年度別実績	各コミュニティセンターで、地域性を活かした各種事業を開催	各コミュニティセンターで、地域性を活かした各種事業を開催	各コミュニティセンターで、地域性を活かした各種事業を開催	各コミュニティセンターで、地域性を活かした各種事業を開催	各コミュニティセンターで、地域性を活かした各種事業を開催		
	実績 8センター(各支所) 全41事業を実施	実績 8センター(各支所) 全80事業を実施	実績 8センター(各支所) 全80事業を実施	実績 8センター(各支所) 57事業を実施	実績 8センター(各支所) 50事業を実施		
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	3,080	3,192	2,215	2,569	1,828	
	直接経費 A	2,358	2,460	1,491	1,850	1,121	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
	一般財源	2,358	2,460	1,491	1,850	1,121	
人件費 B	722	732	724	719	707		
職員数の内訳	正規職員	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
				1	各コミュニティセンター実施事業参加のべ人数	人	目標	18000
	(指標の説明)		実績	18013	17175	17605	17162	5509
2			目標	0	0	0	0	0
			実績	0	0	0	0	0
3			目標	0	0	0	0	0
			実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明)							

5. 令和2年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】生涯学習係 0857-30-8426</p> <p>【10次総の施策体系】1101</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・なし</p> <p>【事業の概要】 各コミュニティセンター（旧基幹公民館）で、地域性を活かした各種事業を開催          【国府】高齢者学習活動推進事業 他6事業          【福部】書道教室 他5事業          【河原】みたき大学 他11事業          【用瀬】みすみ大学 他3事業          【佐治】ふるさと伝統工芸品伝承講座 他8事業          【気高】歴史講座 他1事業          【鹿野】読み聞かせ訪問 他5事業          【青谷】高齢者教室 他3事業</p> <p>【事業の成果】 各コミュニティセンター（旧基幹公民館）を拠点として生涯学習を推進し、人づくり、地域づくりに寄与した。</p> <p>【今後の課題・方向性】 平成28年度から基幹公民館をコミュニティ施設へ移行したことに伴い、基幹公民館が実施してきた事業について分室主催等へ移行して実施している。分室のあり方検討に関連して事務事業の見直しが検討される中、地域における生涯学習の推進施策についても検討を行う必要がある。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標達成率	1	各コミュニティセンター実施事業参加のべ人数	100%	93%	93%	88%	28%
	2						
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
年度計画の進捗度  <small>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</small>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input checked="" type="checkbox"/> 3. 事業未完了	新型コロナウイルス影響により当初計画していた事業が規模の縮小や中止となったため。
事業の成果  <small>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</small>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input checked="" type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	新型コロナウイルス影響により当初計画していた事業が規模の縮小や中止となったため。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input checked="" type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
<b>担当課長の評価コメント</b> <small>(「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</small>	<small>平成28年度から基幹公民館をコミュニティ施設へ移行したことに伴い、基幹公民館が実施してきた事業について分室主催等へ移行して実施している。分室のあり方検討に関連して事務事業の見直しが検討される中、地域における生涯学習の推進施策についても検討を行う必要がある。さらに、地域の実態や課題解決、まちづくりの視点を踏まえた主体的で自立性のあるコミュニティ活動の拠点となる地域組織のあり方を検討していく。</small>		